

## 相手方コードの確認手順

- 「①財務システムの新相手方コード表」と、奨学資金管理システムで作成した「②平成29年度の貸付リスト」を氏名で照合し、「③奨学資金管理システムへの修正・照合表」(新旧対照表)を作成。  
作成した③に基づいて、奨学資金管理システムのデータベースに新相手方コードを1件ずつ手入力で反映。
- ③における新相手方コード表の登録誤りを確認するため、奨学資金管理システムから新相手方コード反映後のデータ④を抽出し、氏名・貸付金額で照合。
- 修正した新相手方コード④に基づいて財務システムで支出伝票を作成して支出。

## ①【財務システムの新相手方コード表 (イメージ)】

※奨学資金貸付金や奨学のための給付金など、

財務課の全ての特定相手方コードなどを出力した表

新相手方コード	氏名	住所情報	登録口座の情報
○○○○○○○○○○○	千葉 花子	○○○	○○ ○○

## ②【平成29年度の貸付リスト (イメージ)】

旧相手方コード	氏名	金額 (実際の貸付月額)
××××××××××	千葉 花子	×××××

## ③【奨学資金管理システムへの修正・照合表 (イメージ)】

新相手方コード	旧相手方コード	氏名	金額 (実際の貸付月額)
○○○○○○○○○○○	××××××××××	千葉 花子	×××××

## ④【確認のため奨学資金管理システムから抽出したデータ (イメージ)】

新相手方コード	氏名	貸付月額 (確認用)	住所情報	登録口座の情報
○○○○○○○○○○○	千葉 花子	×××××	×××	×× ××

3. 修正した新相手方コードを基に支出伝票を作成

## ⑤【奨学資金を振り込むために財務システムで作成した支出伝票】

新相手方コード	氏名	貸付月額	住所情報	登録口座の情報
○○○○○○○○○○○	千葉 花子	×××××	○○○	○○ ○○

同姓同名の別人の相手方コードにより支出伝票を作成したため、  
振込先が同姓同名の別人の口座になってしまった。

↔ : 照合

→ : 引用

1. 氏名で照合し、データ統合  
※住所・登録口座の情報は  
照合しませんでした

2. 相手方コードと氏名・  
貸付額の対応を確認